

一般社団法人日本小児血液・がん学会
第82回理事会議事録

日時:令和6年9月13日(金) 15:00~17:00

開催:ZOOMによるオンライン開催

出席者:米田 光宏、加藤 元博、盛武 浩、家原 知子、大植 孝治、木下 義晶、富澤 大輔、
真部 淳、山崎 文之、義岡 孝子、余谷 暢之、滝田 順子、後藤 裕明、櫻井 英幸、
竹之内 直子、野上 恵嗣(以上理事)
多賀 崇、滝 智彦(以上監事)

田尻 達郎(第67回学術集会長)、松本 公一(第68回学術集会長)

欠席者:上原 秀一郎、大平 美紀(以上理事)

足立 壮一(第66回学術集会長)

冒頭に、本日の理事出席者数は理事18名中16名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を満たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事長 米田光宏は議長となり、議長席に着き審議に入った。

I. 前回議事録(案)の確認

議長より、前回理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

II 審議事項

1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の盛武副担当理事より、現在の会員数の報告とともに、入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

2. 常設委員会新体制について

米田理事長より、常設委員会の各担当理事より推薦された委員会構成について資料に示され、今後随時引継ぎなどの準備を進めることとして議場にその承認が求められ、異議なく承認された。
なお、外部委員への謝金などについて、今後、庶務・財務委員会と規約委員会で内規の作成などについて検討されることとなった。

3. 倫理的配慮が欠ける演題について

学術集会プログラム委員会の家原担当理事より、倫理的配慮が欠ける演題についての委員会での審議結果が資料に示され、倫理委員会の未承認の演題は採択が困難なため、現在、倫理委員会委員会審査中のものに関しては、発表の前にその結果をプログラム委員会へ提出いただくことで発表を認めるものの、現時点で審査を受けていない演題に関しては、不採択とすることについて議場にその承認が求められ、異議なく承認された。

4. 映像作品への協賛依頼について

映像制作企業より依頼のあった協賛依頼の可否について議場にその承認が求められたが、協賛を行わない方針となった。学会という特性上、協賛や後援の在り方については慎重に対応する必要があることが改めて確認された。

5. 令和6年度「小児医学川野賞」学会推薦について

米田理事長より、公益財団法人川野小児医学奨学財団 令和6年度「小児医学川野賞」学会推薦枠への申請について資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

6. 地区セミナーの開催に伴う企業との包括契約について

教育・研修委員会で実施している地区セミナーの開催に伴う企業との包括契約について、2024年

の開催と同様に、企業協賛を公募していくことが異議なく承認された。

Ⅲ. 報告事項

1. 庶務報告

庶務・財務委員会の盛武副担当理事より、本会の正会員、評議員、賛助会員等の会員状況について報告された。

なお、入会申請時の専門領域の入力に関しては、庶務・財務委員会により見直しを行うこととされ、「小児科～上記以外の臨床系」の選択肢に「医師」の文言を追記することが提案され、事務局でシステム上の運用などの確認を行うこととなった。

2. 学術集会報告

1) 第66 日本小児血液・がん学会学術集会報告

滝田副会長より、2024 年 12 月 13 日(金)～15 日(日)に国立京都国際会館にて開催する第66 回学術集会の進捗について、現在一般演題の選定中であることが報告された。また、参加費の見直しを検討していることが報告され、金額については大会長に一任されることが確認された。

2) 第67回日本小児血液・がん学会学術集会報告

田尻会長より、2025 年 11 月 19 日(水)～21 日(金)に開催される第67回学術集会について、現在準備中であることが報告された。

3) 第68 回日本小児血液・がん学会学術集会報告

松本会長より、2026 年開催の学術集会について、現在日程、会場ともに検討中であることが報告された。

3. 委員会報告

1) 利益相反委員会

利益相反委員会 大植副担当理事より、2024 年の利益相反申告調査を開始したことが報告された。

2) 学術集会プログラム委員会

学術集会プログラム委員会 家原担当理事より、選定された優秀演題5題について報告された。選定されなかった査読点数 5 点の演題に 4.5 点の演題を加えて、その中から 7 演題程度をプログラム委員会で選び、優秀演題セッションとして口演セッションを設定する予定であることが報告された。また、二重発表に関するルールについて、今年度中に現プログラム委員会として素案を作成し、次期委員に引き継ぎ、理事会に諮る予定であることが報告された。

3) 学会賞等選考委員会

学会賞等選考委員会 滝田担当理事より、外部団体が主催する賞の学会推薦枠について、基準を定めることが提案され、今後検討されることとなった。

4) 研究審査委員会

研究審査委員会 家原副担当理事より、学会が承認したオプトアウト研究における「情報公開文書」について、学会ホームページへの掲載を行ったことが報告された。

5) 専門医制度委員会

専門医制度委員会 富澤担当理事より、9 月 14 日、15 日の2日間、2024 年度小児血液・がん専門医試験が開催されることが報告された。

6) 社会・広報委員会

社会・広報委員会 余谷担当理事より、現在学会ホームページの利便性を向上させるための見直しを行っていることが報告された。

7)長期フォローアップ・移行期医療委員会

米田理事長より、今後の LCAS 研修会の日程などについて報告された。

8)将来計画委員会について

米田理事長より、第1回将来計画委員会を開催し、以下について意見交換が行われたことが報告された。

1. 委員会の公開について
2. 監事の資格
3. 委員の任期
4. 委員の定員
5. 常設委員会の見直し
6. 理事の領域の見直し
7. 特殊な領域の専門家との連携
8. JCCGとの役割分担
9. 若手会員の育成・増加に向けて
10. 女性会員の増加に向けて
11. 海外の学会との連携
12. 学会活動を通じた基礎研究の活性化
13. 評議員資格の見直し

なお、今後継続して検討を重ね、理事会へ議題を提出する予定であることが報告された。

IV.理事長報告

米田理事長より、本会も賛同している生物化学学会連合による科研費増額についての要望書が文部科学大臣へ提出されたことが報告された。また、米田理事長が日本医学会分科会活動報告案を作成し、日本医学会への要望を含め、9月16日を締切に加筆修正を理事会メンバーに依頼することとなった。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和6年9月13日

日本小児血液・がん学会 第82回理事会

理事長 米田 光宏

監事 滝 智彦